

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社三十三総研

②施設・事業所情報

名称：府中保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 佐田 恵子	定員（利用人数）：140名
所在地：三重県伊賀市東条74番地	
TEL：0595-23-8393	
ホームページ： http://www.iga-sjk.or.jp/children_detail.php?id=21	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和50年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人伊賀市社会事業協会	
職員数	常勤職員：13名 非常勤職員：8名
専門職員	看護師：1名 調理師：3名
施設・設備の概要	保育室7部屋、多目的ホール、ランチルーム、調理室、職員室、相談室、更衣室、給湯室

③理念・基本方針

<保育理念>

- ・「子どもの最善の利益」を基本として、子どもの保育、子育て支援事業を推進する。
- ・1人ひとりの子どもへの視点を大切にし、自立心や豊かな人間関係の基礎を育てる。

<保育目標>

- ・健康で元気な子ども
- ・仲間を大切にし仲良くあそぶ子ども
- ・自然に親しみ感性豊かな子ども
- ・創意工夫し表現できる子ども
- ・楽しく食べる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・地域の方々と一緒にさつまいもの苗植えや芋ほりをしたり、地区運動会に参加したり、また地域の高齢者や小中学生との世代間交流も行なっています。
- ・毎日、体を使った遊びである「にんにんタイム」を実施し、体力の向上を目指した保育を実施しています。
- ・地域の華道家、茶道家を招き、アレンジフラワーやお茶の点て方・礼儀作法を学んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 10 月 1 日（契約日） ～ 平成 31 年 3 月 31 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	0 回

⑥総評

府中保育園は、2018年に市立佐那具保育所と統合し移転改築しました。園の南側は田園地帯で、少し足を伸ばせば梨畑が広がっている自然豊かな場所に立地しています。

当保育園では、未就園児と保護者が園生活を体験する「府中さくらんぼ」を開催しているほか、放課後児童健全育成事業として、児童クラブ「ウイングうえの」を敷地内で運営するなど、地域の福祉拠点として大きな役割を果たしています。

◇特に評価の高い点

- さつまいもの苗植・芋ほり、高齢者とのふれあい遊びなど、地域や世代間の交流が活発に行われており、地域とのかかわりを大切にされた保育姿勢を感じ取ることができました。
- 近隣の小学校と密に連携をとり、府中保育園を卒園した児童とふれあい遊びを行っているほか、小学校を訪問し1年生との交流会を実施するなど、スムーズに進学ができる環境を整えています。
- チェックリストに基づいた遊具の点検を毎日行っているほか、ヒヤリハットシートには、「いつ」、「どこで」、「どうしていた時に」の項目別に詳細が記録されるとともに情報が職員間で共有され、危険防止や安全対策が十分に行われていることがみてとれました。

◇改善を求められる点

- 毎日の連絡帳や送迎時対応などを通して、日々の出来事等の丁寧な連絡に感謝の気持ちを伝えてくれる保護者がいた一方で、子供たちの様子をもっと知りたいという保護者もいました。保護者の意向や要望を把握する機会として、定期的な意向調査等の積極的な取組は今後の課題といえます。
- ボランティアの受入れを行っていますが、受入れに際しては、トラブルや事故を防ぐために施設内で注意することなどをマニュアルで整理し、全職員に周知徹底することが望まれます。
- 申し送りの内容不足や伝え忘れを指摘する意見が職員アンケートで見られました。今後は、必要な情報を関係者全員が漏れなく共有できるよう、連絡方法等の見直しを行ってください。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- 第三者評価を受審して、保育園運営について前向きに検討していくなかで、当園の課題とその改善点に気づくことができました。これからの積極的な園運営に向けて前進する一歩へとつなげることができたように思います。
- 今後は、評価結果を真摯に受け止め、改善を図りながらより一層の職員の資質向上に向けて努めていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるように職員室等に掲示している他、ホームページで公開するなど、利用者や地域に向けて情報発信しています。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部では、常に福祉動向を把握しており、地域の保育ニーズを含めた事業経営をとりまく環境を的確にとらえたうえで分析を行っています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部では、経営課題を明確にし、施設長会議や職員会議などで役職員に周知しています。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部が主導して、5年を単位とする計画を策定しており、地域福祉推進の目標や取組みの方向、内容、視点などを明らかにしています。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 法人本部が策定した中・長期計画を踏まえて、園独自で単年度の事業計画や収支計画が策定されています。なお、これらの計画は、法人本部と連携を図りながら策定を行っています。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p>〈コメント〉 法人本部が具体的な施策の実施状況を点検・評価し、次の取組みにつなげています。今後は、園内のより多くの職員が関与した組織的な点検・評価の実施が見込まれます。</p>	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<p>〈コメント〉 事業計画については、入園のしおりや園だよりを用いて保護者等に周知されています。また、外国籍の保護者に対して個別相談会で通訳を入れるなど、理解いただけるよう努めています。</p>	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<p>〈コメント〉 保育の質の向上や差異が出ないことを目的とし、各年齢別の担当職員間にて、毎月打ち合わせを行うとともに改善点を記録し、継続的な保育の質の向上を組織的に目指しています。</p>	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p>〈コメント〉 保育の質の向上に向けた取組みが組織的に行われ、課題が明確になっています。今後は、課題の解決に向けた改善策を策定し、計画的に実施することが期待されます。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<p>〈コメント〉 園長の役割と責任については、園内会議において自ら職員に対して説明しており、理解を促しています。</p>	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p>〈コメント〉 園長は、研修会への参加や法人本部との情報共有により、遵守すべき法令等の把握に努めています。また、その内容は復命書等で関連する職員に回覧されているという状況にあり、周知が不足しています。</p>	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<p>〈コメント〉 日常的に職員からの業務相談等への対応を行っています。今後は、臨時職員を含めた職員との多様なコミュニケーションを通して、保育の質の向上に努めてください。</p>	

Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 個別面談を含めた多様なコミュニケーションを通して、より多くの職員の意向・希望を確認しながら、働きやすい職場環境の整備に努めてください。	

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> 採用や人事管理については、法人本部で一括して所管していますが、関係各課と連携しながら、必要な人材・人員体制を整えています。	
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> 職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修体制は良好です。人事考課に関しては、自己評価チェック表や園長との面談を通じて、組織的に行われています。	
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<コメント> 職場全体で休暇を取得しやすい環境づくりに取組んでいます。今後は、より一層職員の意向を把握するよう、職場内でのコミュニケーションに努めてください。	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 個々の面談を通じたコミュニケーションのもと、適切な目標が設定されており、面談記録も作成されています。	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<コメント> 法人独自の研修体制が構築されており、職種・経験年数等に応じて、職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修を実施しています。	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<コメント> 職種・経験年数等に応じて、職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修機会が確保されています。	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<コメント> 実習生の積極的な受け入れが行われており、研修・育成に関するマニュアルが作成されているなど、受入体制の整備もされています。	

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	○a・b・c
〈コメント〉 保育園の事業や財務などに関する情報については、法人本部の所管で適切に公開されています。		
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○a・b・c
〈コメント〉 保育園における事務、経理、取引等に関する権限は規定に明記されているほか、法人全体として監査法人外部監査を受診しています。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	○a・b・c
〈コメント〉 地域の方々との交流を活発に行い、地域に根付いた行事にも参加しています。今後も、子どもと地域との交流を広げるための取組みを継続されることを期待します。		
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・○b・c
〈コメント〉 ボランティアの積極的な受入れを行っていますが、受入れに際しては、トラブルや事故を防ぐために施設内で注意することを全職員に周知徹底することが望まれます。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	○a・b・c
〈コメント〉 市や近隣の小学校と緊密に連携して、1年生との交流会を実施するなど、関係機関との連携が適切に行われています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	○a・b・c
〈コメント〉 未就園児を対象とした、子育て支援の場として「府中さくらんぼ」を年に5回実施しているほか、地域の福祉避難所として指定されています。		
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	○a・b・c
〈コメント〉 法人として、地域の子育て支援センターの運営を通じて子育て家庭に対する支援を行うなど、地域の福祉ニーズの把握に努めています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	○a・b・c
〈コメント〉 人権に関する研修会に職員が積極的に参加するなど、子どもの人権に関する意識を高めるよう努めています。	
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	○a・b・c
〈コメント〉 子どものプライバシー保護・虐待防止等の権利擁護についてのマニュアルが作成されており、適切に運営されていることが記録からもみてとれます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	○a・b・c
〈コメント〉 法人のホームページや広報誌を活用して、提供する保育の内容等の情報を発信しています。また、施設の見学希望にも対応しています。	
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	○a・b・c
〈コメント〉 入園の際は「入園のしおり」を用いて、保護者が理解しやすいように工夫しています。また、外国籍の保護者には通訳をつけるなどの工夫を行っています。	
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	○a・b・c
〈コメント〉 保育所の変更等は適切に引継ぎが行われており、法人内での変更の際には児童票の受け渡しが行われています。また、その他変更の際にも施設長が連携し、継続性に配慮しています。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a○b・c
〈コメント〉 送迎時のコミュニケーションや個別懇談の中で利用者満足の把握に努めています。今後は、定期的に利用者満足を把握し、把握した結果を分析・検討する仕組みを整備することが望まれます。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a○b・c
〈コメント〉 苦情解決の体制が整備されており、適切な対応ができるように職員間で共有されています。今後は利用者に対して本体制の周知が望まれます。	

Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a <input checked="" type="radio"/> b c
<コメント> 相談スペースを設けるなどの環境整備に取り組んでいます。今後は、職員から保護者への積極的な声掛けや、保護者が意向・要望を伝えやすい仕組みを工夫することが望まれます。	
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> 保護者からの相談や意見、提案に対しては、園長を中心とした関係職員全体で対応方針や改善策を話し合い、速やかな対応に取り組んでいます。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> チェックリストに基づき遊具を毎日点検するなど、危険防止に向けた取組みが十分に行われています。ヒヤリハットについても、些細な出来事まで都度記録し、安全対策に取り組んでいます。	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> 感染症予防や発生時におけるマニュアルが策定されており、職員への周知も行われています。保護者に対しては日頃から注意喚起を促すとともに、感染症が発生した場合は貼り紙等を活用し、情報提供を行っています。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> 災害時を想定した避難訓練を月に1回、防犯訓練を2ヵ月に1回実施するなど、年間を通して子どもの安全確保に向けた取組を行っています。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> 年齢に応じたデイリープログラム、週案、月案が文書化され、子どもの発達に即した保育が可能な体制が構築されています。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<input checked="" type="radio"/> a b・c
<コメント> 標準的な実施方法については、年度初めに職員の意見を反映させ、見直しをする機会を設けています。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 家庭票や児童票を用いてアセスメントを行い、子どもの発達や状況を踏まえて指導計画の策定に努めています。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 指導計画については、園内会議などで進捗状況の報告が行われています。今後は、定期的な評価・見直しを行ったうえで課題や改善策を明確にし、次の指導計画の作成に活かしてください。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 申し送りの内容不足や伝え忘れを指摘する意見が職員アンケートでみられました。今後は、必要な情報を関係者全員が漏れなく共有できるよう、連絡方法等の見直しを行ってください。	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 記録の管理方法については、職員に周知・徹底されています。また、個人情報を含む記録については、施錠式の書庫で適切に保管されています。	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 地域の子育て経験者と子どもたちとの交流が活発に行われており、その中で十分なコミュニケーションが図られています。	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 伊賀警察署や交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施するなど、子どもの安全確保について、地域との連携体制が構築されています。	
Ⅳ-1-④ 地域の環境保護に貢献している。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉 子どもたちは、ゴミの分別や節水等を通じて環境美化の大切さを学んでいます。今後は、子どもに地域の環境保護意識をめばえさせる活動に取り組んでください。	

改善計画書

施設名 社会福祉法人伊賀市社会事業協会 府中保育園 (担当者 高岡 ひとみ)

(作成年月日 平成 31 年 3月18 日作成)

(施設として特に優れている点) やり続けて続けること	1	法人及び保育園の理念や基本方針を明文化し、利用者には入園時や行事の時に園長から説明している。						
	2	子育て支援事業「府中さくらんぼ」を開催し、未就園親子や保護者同士の交流の場を持っている。また「一時預かり事業」や「延長保育事業」など、地域のニーズに応えた保育サービスを提供している。						
	3	子どもの発達に合わせて「にんにんタイム」や「3B体操」など、からだ育てに取り組んでいる。						
	4	異年齢児保育や「みんなのつどい」を実施し、仲間を大切にすること人権保育を進めている。						
	5	地域の高齢者や小中学生との世代間交流を行っている。また、職場体験や保育実習、インターンシップなども積極的に受け入れている。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すくやかさ こと	1	保育理念や基本方針の周知	保育理念や基本方針を全職員が周知する。	3か月	H31.4	H31.6	臨時パート職員を含む全職員への周知に努める。	園長・主任
	2	ボランティア受け入れに対する体制の整備	受け入れに対するマニュアルの作成。	3か月	H31.4	H31.6	マニュアルを作成する。職員に対して受け入れ時の確認を徹底する。	園長・主任
	3	改善策の文書化	改善策や改善計画を文書化する。	6か月	H31.4	H31.9	改善策について話し合うだけでなく内容や経過を記録し、職員間で共有する。	園長・主任
	4							
	5							
工夫すればできること	1	利用者からの意見に対する対応	意見に対する対策の公表。	1年	H31.4	H32.3	利用者からの意見に対し迅速に対応し、保護者会やクラス懇談会などで公表するように努める。	園長
	2	職員の資質向上	自己評価を活用して自分の保育を振り返り、資質向上を図る。	1年	H31.4	H32.3	自己評価から自分の保育を振り返り、PDCAサイクルを実行して話し合いの場をもち、資質向上に努める。	園長
	3							
	4							
	5							
予算化しないことできないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							